

# MOT人材開発の一環としてのケースメソッド教育の高度化と普及 エージェント・ベース・モデリングによる経営組織のマネジメント研究

大学院経営管理研究科 高木 晴夫

## ケースメソッド教育の高度化に向けた取組み

### ● 事業目的「技術経営教育人材育成事業に向けたケースメソッド教育の展開と講師養成」

本プロジェクトは、MOTの教育現場で必要とされている「技術に関わる事象に対して多用な側面から物事を考えることができる人材を育成する教育能力」を持つ、教師・講師を一人でも多く教育機関に輩出する講座を定期的に運営することを目的として、慶應義塾大学内で、MOT及びそれと関連するプログラムの指導にあたる教師・講師、および教師・講師希望者と、日本全国の大学・大学院・教育機関・企業などの組織において、MOTプログラムを担当しようとする講師および講師希望者に向けて、ケース教材（経営事例）のディスカッションを中核にする双方向（講師と受講生、受講生と受講生）授業による学習方法の展開適用を理解させ、そのような授業運営ができる講師を養成するコースの企画・運営を実施した。

### ● 事業目的「ケースメソッドによる

#### MOTプログラムの開発・設計・運用を担当するプログラム・ディレクターの養成」

ケース・メソッドによるMOTプログラムを実施しようとする組織において、その開発・設計・運用を担うべき人材（プログラム・ディレクター、講師自身もこれに携わりたい場合には講師も含む）を研修対象とした。また、様々なMOTプログラムをケース・メソッド授業で展開するにあたって、押さえるべき開発・設計・運用のポイントを理解させ、開発・設計・運用スキルの育成とプログラム評価能力を養成することを目的とした。同時に、MOT教育の効果を十分に発揮させうる教材（ケース）開発のスキルも同時に学習させることも行った。

### ● 事業目的「ケースメソッドによるMOT教育が展開できる講師を養成するための教材開発」

ケース教材（経営事例）のディスカッションを中核にする双方向（講師と受講生、受講生と受講生）授業による学習方法の展開適用を理解させ、そのような授業運営ができる講師を養成するための教材を構築することにより、MOTの教育現場で必要とされている「技術に関わる事象に対して多用な側面から物事を考えることができる人材を育成する教育能力」を持つ、教師・講師を一人でも多く教育機関に輩出していくことを目的とした。